

たじろ時報

産業五ヶ年計畫【其の三】

五、實施計畫

(一) 食糧作物の増産

本縣の食糧作物は、何れも全國平均よりも下廻る反収を示して居る。然も

本村は、縣の平均反収より遙かに低い

我々は其の原因が何所にあるか、充分

検討し、其の原因を解決して行く事が

増産の根本的問題であると思ふ。

例えば、地力がないと増産は出来な

い。地力のない所は地力を作り、水田の水温の低い所は、水温を上げる様な

設備をする。その様に、根本的な點から、農業經營を改善して行かなければ

五ヶ年計畫の目標達成は困難であると思ふ。改善して行かなければならぬ

問題は山積しているが、先ず、土地改良と自給肥料の増産に就いて述べて見度い。

1、土地改良

イ、畑

本村の畑は大部分切換畑で、畑と言

う様な畑は僅か二割程度である。之は地理地形の然らしむる處もあると思ふ

が、開墾して三年か五年耕作したら放棄して、又新しく開墾して行くと言

うのであるが、現在は約一、三〇〇戸以下の農家があつた時代は、土地資

源に恵まれ、切換畑式の農業經營が出来たのであるが、現在は約一、三〇〇戸の農家があり、一方土地には限界が

あるので、切換畑式の經營は不可能となり、止むを得ず傾斜地までそのまゝ

何年も耕作しなければならない様な状態になつたのである。

傾斜地をそのまま耕作すれば、表土は流失し、施した肥料も大部分流失し

自然生産は減少して行くのが本村畑作物の現状である。

此の現状の解決を如何にすべきか、

之については色々方法もあるが、先ず

爲すべき事は、傾斜地の再開墾である

と思ふ。

本村農業經營改善の要素である。

傾斜畑一反歩から廿諸一〇〇ヶ取れ

一反歩でも平坦な畑になして行く事が

思ふ。改善して行かなければならぬ

問題は山積しているが、先ず、土地改

良と自給肥料の増産に就いて述べて見度い。

2、水田

本村の水田は、地力其の他の條件に

つ爲に、村の五ヶ年計畫に基き、各農

家でも計畫を樹て、近所同志數名相寄り、增産同志會を結成して、勞力の交換により、傾斜畑を再開墾して平坦地浪費を來し、經營の合理化への障害となつて居る。之らの悪じゆんかんを断つて、二反歩の傾斜畑を購入した事によつて、反當三〇〇ヶの廿諸が取れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良く混ぜる。良い。

(二) 自給肥料の増産

本村の農業經營は堆肥の資源に最も

なつて居る。之らの悪じゆんかんを断つて、二反歩の傾斜畑を購入した事によつて、反當三〇〇ヶの廿諸が取れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良く混ぜる。良い。

3、どんな仕事をするか

本村の農業經營は堆肥の資源に最も

なつて居る。之らの悪じゆんかんを断つて、二反歩の傾斜畑を購入した事によつて、反當三〇〇ヶの廿諸が取れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良く混ぜる。良い。

4、今回の教育委員の選舉は

本村の農業經營は堆肥の資源に最も

なつて居る。之らの悪じゆんかんを断つて、二反歩の傾斜畑を購入した事によつて、反當三〇〇ヶの廿諸が取れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良く混ぜる。良い。

5、どんなん組織になつて居るか

本村の農業經營は堆肥の資源に最も

なつて居る。之らの悪じゆんかんを断つて、二反歩の傾斜畑を購入した事によつて、反當三〇〇ヶの廿諸が取れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良く混ぜる。良い。

縣議會

1人
民
1人
教育會
6人
委員
1人
教育長
1人
教育長室
1人
總務課
1人
學校教育課
1人
體育保健課
1人
社會教育課

縣教育委員會委員の選舉迫る

十一月十日 縣下一齊執行

任期満了による縣教育委員會委員の選舉が、来る十一月十日午前七時より

縣下一齊に行なはれます。此の教育委員會とは一體どんな機關でしようか?

1、どんな組織になつて居るか

委員會の委員の中から委員長一人を選び、委員長は毎月少くとも一回定例の會議を招集し、そして縣の教育

文化の發展のためにさういう方法が一番良いかを定め、その決定した方針に従つて教育長に仕事をさせ、それが正しく行

なはれるか、よく見守つて行

議員會開催さる

議員一同は大根占町に會し、初の南隅四ヶ町村議會が開催された。午前十時地元宮里議長を本會の議長に推し開會、會順に從い終始眞剣に討議され、各町村提出議案九件を万場一致拍手を以て可決、之を早急實施に移すことを申合せた。之に次いで各町村代表の意見發表が行なわれ、南隅の現状を之については色々方法もあるが、先ず之に於ては色々方法もあるが、先ずは客主について述べる事にする。

本村の生産力の低い事は前にも述べた如く、色々の原因があるが、戰時戰後に恒り掠奪農業に依り、地力が消耗した事が最も大きな原因であると思ふ。

特に昨年頃より出穗時迄は非常に良い作柄を示し、出穗後次第に生育が衰える現象が多い様である。之を秋落さ

るには新しい土を客土すれば良い。

即ち山の赤土或は溜地や水路等の底

土を、一畝に一〇〇貫から二〇〇貫内外二、三ヶ年續けて客土すれば良い。

又冷水の掛る處水持の悪い處は保水力を強化する。保水力を強化するには、練土質の土を一畝に一〇〇貫から二〇〇貫内外二、三ヶ年續けて客土すれば良い。

又客土するには田植前に一度に多量

は入れ難いから、冬の農閑期に入れる

よい。即ち麥の作條の間又は肩に入れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良く混ぜる。良い。

堆肥の必要はないと定め堆肥

の在り方についての講話は、現役議員に於ては責任感を與へ、公務多端の折

所は温水溜の設置をなし、水不足の所は水利施設を施し、保水力の強化を計らねばならない。

以上の如き土地改良の實施によつて

佐賀縣地方の様に、反當平均十五俵位の生産を上げる様にすると共に、耕作

は客主について述べる事にする。

本村の生産力の低い事は前にも述べ

た如く、色々の原因があるが、戰時戰

後に恒り掠奪農業に依り、地力が消耗

した事が最も大きな原因であると思ふ。

特に昨年頃より出穗時迄は非常に良

い作柄を示し、出穗後次第に生育が衰

える現象が多い様である。之を秋落さ

るには新しい土を客土すれば良い。

即ち山の赤土或は溜地や水路等の底

土を、一畝に一〇〇貫から二〇〇貫内外二、三ヶ年續けて客土すれば良い。

又客土するには田植前に一度に多量

は入れ難いから、冬の農閑期に入れる

よい。即ち麥の作條の間又は肩に入

れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良

く混ぜる。良い。

堆肥の必要はないと定め堆肥

の在り方についての講話は、現役議員に於ては責任感を與へ、公務多端の折

所は温水溜の設置をなし、水不足の所

は水利施設を施し、保水力の強化を計

らねばならない。

以上の如き土地改良の實施によつて

佐賀縣地方の様に、反當平均十五俵位の生産を上げる様にすると共に、耕作

は客主について述べる事にする。

本村の生産力の低い事は前にも述べ

た如く、色々の原因があるが、戰時戰

後に恒り掠奪農業に依り、地力が消耗

した事が最も大きな原因であると思ふ。

特に昨年頃より出穗時迄は非常に良

い作柄を示し、出穗後次第に生育が衰

える現象が多い様である。之を秋落さ

るには新しい土を客土すれば良い。

即ち山の赤土或は溜地や水路等の底

土を、一畝に一〇〇貫から二〇〇貫内外二、三ヶ年續けて客土すれば良い。

又客土するには田植前に一度に多量

は入れ難いから、冬の農閑期に入れる

よい。即ち麥の作條の間又は肩に入

れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良

く混ぜる。良い。

堆肥の必要はないと定め堆肥

の在り方についての講話は、現役議員に於ては責任感を與へ、公務多端の折

所は温水溜の設置をなし、水不足の所

は水利施設を施し、保水力の強化を計

らねばならない。

以上の如き土地改良の實施によつて

佐賀縣地方の様に、反當平均十五俵位の生産を上げる様にすると共に、耕作

は客主について述べる事にする。

本村の生産力の低い事は前にも述べ

た如く、色々の原因があるが、戰時戰

後に恒り掠奪農業に依り、地力が消耗

した事が最も大きな原因であると思ふ。

特に昨年頃より出穗時迄は非常に良

い作柄を示し、出穗後次第に生育が衰

える現象が多い様である。之を秋落さ

るには新しい土を客土すれば良い。

即ち山の赤土或は溜地や水路等の底

土を、一畝に一〇〇貫から二〇〇貫内外二、三ヶ年續けて客土すれば良い。

又客土するには田植前に一度に多量

は入れ難いから、冬の農閑期に入れる

よい。即ち麥の作條の間又は肩に入

れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良

く混ぜる。良い。

堆肥の必要はないと定め堆肥

の在り方についての講話は、現役議員に於ては責任感を與へ、公務多端の折

所は温水溜の設置をなし、水不足の所

は水利施設を施し、保水力の強化を計

らねばならない。

以上の如き土地改良の實施によつて

佐賀縣地方の様に、反當平均十五俵位の生産を上げる様にすると共に、耕作

は客主について述べる事にする。

本村の生産力の低い事は前にも述べ

た如く、色々の原因があるが、戰時戰

後に恒り掠奪農業に依り、地力が消耗

した事が最も大きな原因であると思ふ。

特に昨年頃より出穗時迄は非常に良

い作柄を示し、出穗後次第に生育が衰

える現象が多い様である。之を秋落さ

るには新しい土を客土すれば良い。

即ち山の赤土或は溜地や水路等の底

土を、一畝に一〇〇貫から二〇〇貫内外二、三ヶ年續けて客土すれば良い。

又客土するには田植前に一度に多量

は入れ難いから、冬の農閑期に入れる

よい。即ち麥の作條の間又は肩に入

れ、田植前に二、三回耕耘し、土を良

く混ぜる。良い。

堆肥の必要はないと定め堆肥

の在り方についての講話は、現役議員に於ては責任感を與へ、公務多端の折

所は温水溜の設置をなし、水不足の所

は水利施設を施し、保水力の強化を計

らねばならない。

以上の如き土地改良の實施によつて

佐賀縣地方の様に、反當平均十五俵位の生

